

グローバル中小型株式ファンド

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2021年6月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル中小型株式ファンド」は、2021年6月17日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2020年10月6日から無期限です。
運用方針	日本を含む先進国および新興国の中小型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。
主要投資対象	RMグローバル中小型株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

<照会先>

電話番号：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ： <https://www.resona-am.co.jp/>

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率		
(設定日)	円		円	%	%	百万円
2020年10月6日	10,000		—	—	—	1
1期(2021年6月17日)	13,752		0	37.5	97.3	45

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(設定日)	円		%	%
2020年10月6日	10,000		—	—
10月末	9,532		△ 4.7	98.3
11月末	10,452		4.5	98.4
12月末	11,012		10.1	98.4
2021年1月末	11,659		16.6	98.1
2月末	12,409		24.1	95.9
3月末	12,730		27.3	95.2
4月末	13,488		34.9	96.3
5月末	13,215		32.2	97.3
(期 末)				
2021年6月17日	13,752		37.5	97.3

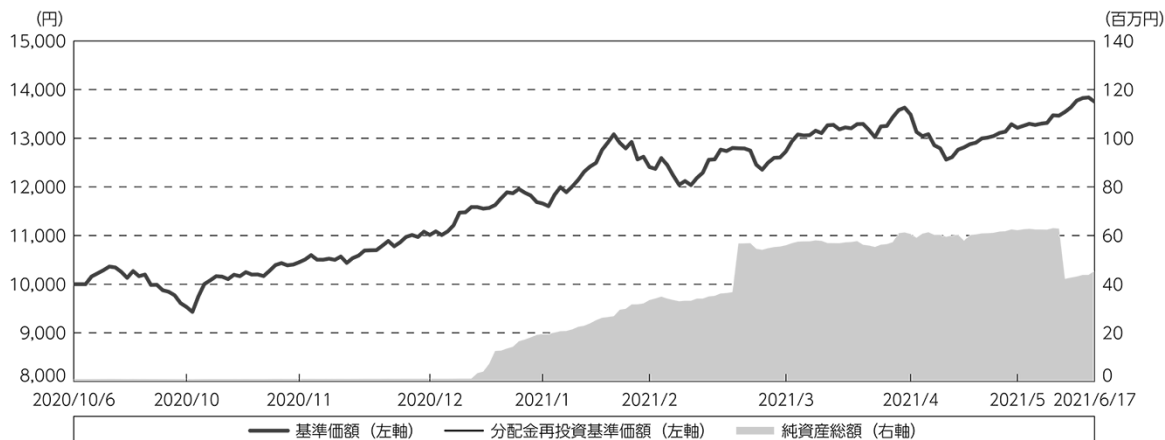
(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2020年10月6日～2021年6月17日)

期中の基準価額等の推移



設定時：10,000円

期 末：13,752円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 37.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じて投資を行った結果、当ファンドの基準価額は設定時10,000円から期末13,752円となり、3,752円の値上がりとなりました。

国内外の株式市場全体が上昇したことに加え、保有する投資対象銘柄の選択・投資割合の管理がプラスに寄与したことが、基準価額の主な値上がり要因となりました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、設定時と比較して上昇しました。新型コロナウイルス問題に伴う経済活動の停滞懸念等が続くなか、主要国による大規模な財政・金融支援策に対する期待等から上昇基調で推移しました。低金利環境が相場を下支えするなか、新型コロナワクチンの開発・接種開始に向けた期待や、米大統領選挙の結果判明を受けて景気見通しや政治・政局を巡る不確実性が緩和されたこと等が株価上昇の追い風となりました。その後、インフレの高進懸念や市場の過熱感などから調整する場面も見られましたが、財政・金融の一体支援が続くなか、先進国における新型コロナワクチンの接種拡大を背景とした景気の早期回復期待も支援材料となり、主要国を中心に上昇基調が持続しました。

為替市況

設定時と比較して、円は米ドル・ユーロ双方に対し円安となりました。

米ドルに対しては、米国による金融緩和策の継続により低金利環境の長期化が見込まれるなか、インフレ期待の回復に伴う米国の実質金利低下等を受けて一時102円台まで円高が進みました。しかしその後は米国の長期金利上昇に伴う日米の金利差拡大等を背景に円安方向へと揺り戻しが進み、期末にかけては110円台まで円安が進みました。

ユーロに対しては、米ドル安進行のほか、欧州地域での景気回復期待の高まりからユーロ高（円安）基調で推移しました。期末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い一部地域で移動制限措置が復活するなど、一時的に景気の下振れが懸念されたものの、ユーロ高基調は崩れず、約3年3ヵ月ぶりに一時134円台までユーロ高が進行する場面も見られました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ QDレーザ（日本）

レーザをコア技術とし、今後様々な産業の画期的な要素技術となる可能性がある量子ドットレーザの量産化に世界で初めて成功した会社です。中期的に期待されるのはアイウェア向け用途です。生き残った網膜細胞にピンポイントでレーザを照射するアイウェアを装着することで、手術や眼鏡等で視力を回復できない人々に「見える」という体験を幅広く提供することを目指しています。この事業は誰ひとり取り残さない社会の実現を標榜するSDGsの精神に則っており、社会課題解決を通じた成長に強く期待しています。また、

長期的には半導体産業のゲームチェンジャーになる可能性に注目しています。従来の電気による情報伝達手法には、高速化の限界や電力消費量の増大、発熱といった課題が発生しています。チップ間の伝達を電気から光に置き換えることができれば性能向上や環境負荷を縮小させることが可能で、半導体産業を大きく飛躍させるものと期待しています。

■ マステック（米国）

米国の特殊建設会社です。当初は高品質な工事を強みにしてきましたが、創業者の子息である現CEOのもと、全米の工事プロジェクトをマネージする基盤を構築し、現在では元請けとして大きな強みを発揮しています。また、顧客や社会の課題を早期に把握し、新しい事業を構築することを非常に得意としています。例えば、再生エネルギー向け建設事業に約10年前から注力してきましたが、近年は脱炭素社会への動きが加速化するなかで大きな成果につながっており、株価も大きく上昇しています。足元では道路などインフラの老朽化対策が米国における課題の一つとなっていますが、効率的に対処できる業者が少ないことに着目して同社はこの分野に新しく進出しており、持続的な社会の実現に寄与しつつ、今後も業績拡大が期待できる企業として評価しています。

■ ECヘルスケア（香港）

主に美容医療サービスを提供する香港の会社で、ボトックス注射などの美容関連専門の医療機関として創業されました。香港や中国華南地区においては信頼がおける美容医療機関は限られており、安心して施術が受けられる仕組みを作った同社はシェアを拡大してきました。また、近年は創業者の真の狙いである総合医療機関としての事業を拡大しており、株価も大きく上昇しています。先般打ち出された中期経営計画では、同社の強みである差別化された高品質な美容医療及び一般医療サービスを中国本土へ本格的に展開する施策を掲げており、更なる業績の加速に期待しています。今回のコロナ禍では、香港で最初にPCR等の感染検査体制を提供しており、社会課題の解決にいち早く取り組んだ企業としても評価しています。

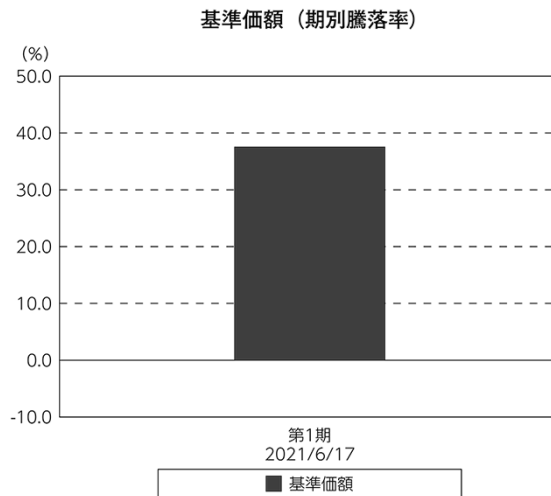
<マイナス要因>

■ モダリス（日本）

独自のゲノム編集（遺伝子改変）技術に強みを持つ創業ベンチャーです。ゲノム編集の基礎技術は、2020年ノーベル賞の対象となったように近年注目が高まっています。同社の技術は遺伝子の発現レベルをスイッチのようにオン、オフにすることで病気の最上流に働きかける仕組みとなっており、再現性の高さやコストの低さに加え、対象遺伝子に対する設計のし易さが大きな特徴になっています。したがって、これまで患者数が少ないために治療薬が開発されてこなかった多くの希少疾患に対して経済的にアプローチできる可能性が高く、誰ひとり取り残さない社会の実現を標榜するSDGsの理念に合致したビジネスとして高く評価しています。期中では世界的にバイオ関連株のリターンが弱かったことや、予定していたライセンス料収入が次期へ後ずれたことなどから株価は低迷しましたが、本質的な成長期待に変化はないと判断しており、投資を継続しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2020年10月6日～ 2021年6月17日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,752

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。
なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、SDGsを含め持続性の高い社会構造の変化に注目することによりユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれる様々な有望市場とその関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式相場は上昇基調にあると判断されますが、景況感の回復に伴って金融政策が引き締め方向に向かうことにより投資家心理が冷やされる可能性もあり、不安定な市場環境が想定されます。そうしたなか、当ファンドでは市場環境に留意しつつも、中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うことで高成長を継続することができる銘柄の選択に努めていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年10月6日～2021年6月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	136	1.153	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(67)	(0.565)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(67)	(0.565)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.023)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.081	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(10)	(0.081)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.015	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.015)	
(d) そ の 他 費 用	11	0.094	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(10)	(0.085)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.003)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	159	1.343	
期中の平均基準価額は、11,812円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

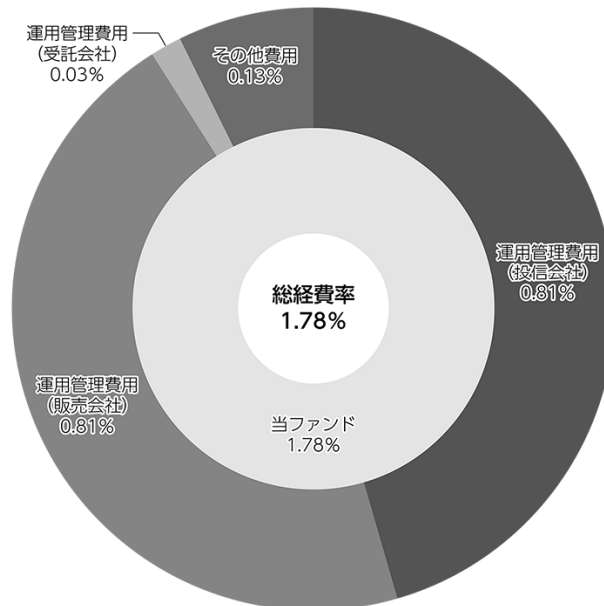
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年10月6日～2021年6月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千口 42,451	千円 68,682	千口 17,104	千円 29,744

○株式売買比率

(2020年10月6日～2021年6月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	RMグローバル中小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	267,992千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	326,636千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.82

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月6日～2021年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年10月6日～2021年6月17日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年10月6日～2021年6月17日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2021年6月17日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
RMグローバル中小型株式マザーファンド		25,347	45,396

○投資信託財産の構成

(2021年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
RMグローバル中小型株式マザーファンド	45,396	99.4
コール・ローン等、その他	266	0.6
投資信託財産総額	45,662	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバル中小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(279,103千円)の投資信託財産総額(404,283千円)に対する比率は69.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.79円、1ユーロ=132.82円、1香港ドル=14.27円、1新台幣ドル=4.0059円。

○特定資産の価格等の調査

(2020年10月6日~2021年6月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	45,662,840
コール・ローン等	266,106
RMグローバル中小型株式マザーファンド(評価額)	45,396,734
(B) 負債	233,482
未払解約金	40,680
未払信託報酬	191,835
その他未払費用	967
(C) 純資産総額(A-B)	45,429,358
元本	33,034,390
次期繰越損益金	12,394,968
(D) 受益権総口数	33,034,390口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,752円

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は59,586,087円、期中一部解約元本額は27,551,697円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.3752円です。

○損益の状況 (2020年10月6日～2021年6月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 60
支払利息	△ 60
(B) 有価証券売買損益	4,167,961
売買益	6,410,454
売買損	△ 2,242,493
(C) 信託報酬等	△ 313,208
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,854,693
(E) 追加信託差損益金	8,540,275
(配当等相当額)	(△ 85)
(売買損益相当額)	(8,540,360)
(F) 計(D+E)	12,394,968
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	12,394,968
追加信託差損益金	8,540,275
(配当等相当額)	(36,120)
(売買損益相当額)	(8,504,155)
分配準備積立金	3,854,693

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(173,662円)、費用控除後の有価証券等損益額(3,681,031円)、および信託約款に規定する収益調整金(8,540,275円)より分配対象収益は12,394,968円(1万口当たり3,752円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

・投資する親投資信託の名称変更に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2021年4月24日)

＜当ファンドが投資対象とするRMグローバル中小型株式マザーファンドは以下の約款変更を行いました。＞
 ・ファンド名称の冒頭部分の「RAM」を「RM」に変更するため、約款に所要の変更を行いました。(2021年4月24日)

RMグローバル中小型株式マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2021年6月17日）
（2020年4月23日～2021年6月17日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2020年4月23日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている中小型株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。</p> <p>②社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2020年4月23日	10,000		—	—	200
1期(2021年6月17日)	17,910		79.1	97.4	403

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本=10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	式 率
		騰	落		
(設定日)	円		%		%
2020年4月23日	10,000		—		—
4月末	10,270		2.7		91.4
5月末	11,327		13.3		92.5
6月末	11,721		17.2		93.6
7月末	11,974		19.7		93.9
8月末	12,779		27.8		97.1
9月末	12,735		27.4		97.6
10月末	12,267		22.7		98.4
11月末	13,471		34.7		98.4
12月末	14,212		42.1		98.5
2021年1月末	15,132		51.3		98.2
2月末	16,105		61.1		96.0
3月末	16,557		65.6		95.2
4月末	17,571		75.7		96.4
5月末	17,232		72.3		97.3
(期 末)					
2021年6月17日	17,910		79.1		97.4

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

(2020年4月23日～2021年6月17日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の変動要因

基準価額は設定時10,000円から期末17,910円となり、7,910円の値上がりとなりました。

国内外の株式市場全体が上昇したことに加え、保有する投資対象銘柄の選択・投資割合の管理がプラスに寄与したことが、基準価額の変動要因となりました。



投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、設定時と比較して上昇しました。新型コロナウイルス問題に伴う経済活動の停滞懸念等が続くなか、主要国による大規模な財政・金融支援策に対する期待等から上昇基調で推移しました。低金利環境が相場を下支えするなか、新型コロナワクチンの開発・接種開始に向けた期待や、米大統領選挙の結果判明を受けて景気見通しや政治・政局を巡る不確実性が緩和されたこと等が株価上昇の追い風となりました。その後、インフレの高進懸念や市場の過熱感などから調整する場面も見られましたが、財政・金融の一体支援が続くなか、先進国における新型コロナワクチンの接種拡大を背景とした景気の早期回復期待も支援材料となり、主要国を中心に上昇基調が持続しました。

為替市況

設定時と比較して、円は米ドル・ユーロ双方に対し円安となりました。

米ドルに対しては、米国による金融緩和策の継続により低金利環境の長期化が見込まれるなか、インフレ期待の回復に伴う米国の実質金利低下等を受けて一時102円台まで円高が進みました。しかしその後は米国の長期金利上昇に伴う日米の金利差拡大等を背景に円安方向へと揺り戻しが進み、期末にかけては110円台まで円安が進みました。

ユーロに対しては、米ドル安進行のほか、EU（欧州連合）復興基金の創設が合意に至るなど、欧州地域での景気回復期待の高まりからユーロ高（円安）基調で推移しました。期末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い一部地域で移動制限措置が復活するなど、一時的に景気の下振れが懸念されたものの、ユーロ高基調は崩れず、約3年3ヵ月ぶりに一時134円台までユーロ高が進行する場面も見られました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ QDレーザ（日本）

レーザーをコア技術とし、今後様々な産業の画期的な要素技術となる可能性がある量子ドットレーザーの量産化に世界で初めて成功した会社です。中期的に期待されるのはアイウェア向け用途です。生き残った網膜細胞にピンポイントでレーザーを照射するアイウェアを装着することで、手術や眼鏡等で視力を回復できない人々に「見える」という体験を幅広く提供することを目指しています。この事業は誰ひとり取り残さない社会の実現を標榜するSDGsの精神に則っており、社会課題解決を通じた成長に強く期待しています。また、長期的には半導体産業のゲームチェンジャーになる可能性に注目しています。従来からの電気による情報伝達手法には、高速化の限界や電力消費量の増大、発熱といった課題が発生しています。チップ間の伝達を電気から光に置き換えることができれば性能向上や環境負荷を縮小させることが可能で、半導体産業を大きく飛躍させるものと期待しています。

■ マステック（米国）

米国の特殊建設会社です。当初は高品質な工事を強みにしてきましたが、創業者の子息である現CEOのもと、全米の工事プロジェクトをマネージする基盤を構築し、現在では元請けとして大きな強みを発揮しています。また、顧客や社会の課題を早期に把握し、新しい事業を構築することを非常に得意としています。例えば、再生エネルギー向け建設事業に約10年前から注力してきましたが、近年は脱炭素社会への動きが加速化するなかで大きな成果につながっており、株価も大きく上昇しています。足元では道路などインフラの老朽化対策が米国における課題の一つとなっていますが、効率的に対処できる業者が少ないことに着目して同社はこの分野に新しく進出しており、持続的な社会の実現に寄与しつつ、今後も業績拡大が期待できる企業として評価しています。

■ ECヘルスケア（香港）

主に美容医療サービスを提供する香港の会社で、ボトックス注射などの美容関連専門の医療機関として創業されました。香港や中国華南地区においては信頼がおける美容医療機関は限られており、安心して施術が受けられる仕組みを作った同社はシェアを拡大してきました。また、近年は創業者の真の狙いである総合医療機関としての事業を拡大しており、株価も大きく上昇しています。先般打ち出された中期経営計画では、同社の強みである差別化された高品質な美容医療及び一般医療サービスを中国本土へ本格的に展開する施策を掲げており、更なる業績の加速に期待しています。今回のコロナ禍では、香港で最初にPCR等の感染検査体制を提供しており、社会課題の解決にいち早く取り組んだ企業としても評価しています。

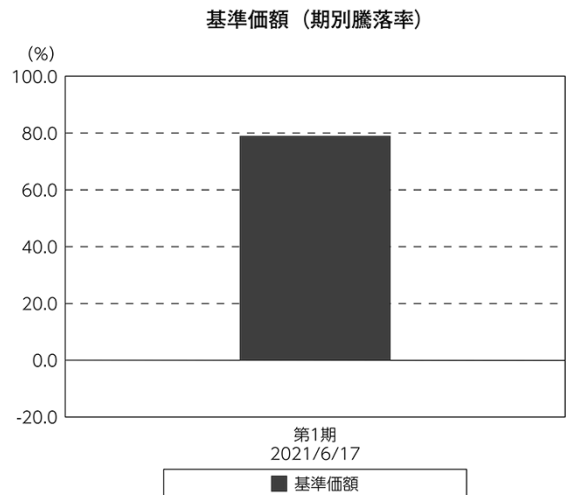
<マイナス要因>

■ モダリス（日本）

独自のゲノム編集（遺伝子改変）技術に強みを持つ創薬ベンチャーです。ゲノム編集の基礎技術は、2020年ノーベル賞の対象となったように近年注目が高まっています。同社の技術は遺伝子の発現レベルをスイッチのようにオン、オフにすることで病気の最上流に働きかける仕組みとなっており、再現性の高さやコストの低さに加え、対象遺伝子に対する設計のし易さが大きな特徴になっています。したがって、これまで患者数が少ないために治療薬が開発されてこなかった多くの希少疾患に対して経済的にアプローチできる可能性が高く、誰ひとり取り残さない社会の実現を標榜するSDGsの理念に合致したビジネスとして高く評価しています。期中では世界的にバイオ関連株のリターンが弱かったことや、予定していたライセンス料収入が次期へ後ずれしたことなどから株価は低迷しましたが、本質的な成長期待に変化はないと判断しており、投資を継続しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、SDGsを含め持続性の高い社会構造の変化に注目することによりユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれる様々な有望市場とその関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式相場は上昇基調にあると判断されますが、景況感の回復に伴って金融政策が引き締め方向に向かうことにより投資家心理が冷やされる可能性もあり、不安定な市場環境が想定されます。そうしたなか、当ファンドでは市場環境に留意しつつも、中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うことで高成長を継続することができる銘柄の選択に努めていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年4月23日～2021年6月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 25 (25)	% 0.177 (0.177)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 (7)	0.048 (0.048)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	18 (18) (1)	0.132 (0.127) (0.005)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	50	0.357	
期中の平均基準価額は、13,810円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月23日～2021年6月17日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 94	千円 148,416	千株 32	千円 87,745
	アメリカ	百株 145 (12)	千米ドル 1,359 (-)	百株 30	千米ドル 401
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	11	71	0.5	2
	フランス	12	166	3	42
	オランダ	13	60	0.6	2
	ルクセンブルク	2	12	-	-
国	デンマーク	0.83	千デンマーククローネ 59	0.83	千デンマーククローネ 74
	香港	3,624 (-)	千香港ドル 3,645 (△ 2)	1,802 (-)	千香港ドル 2,022 (0)
	台湾	260	千新台幣ドル 3,762	-	千新台幣ドル -

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年4月23日～2021年6月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	562,605千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	282,588千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.99

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月23日～2021年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2020年4月23日～2021年6月17日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年6月17日現在)

国内株式

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
食料品 (8.1%)		
ユーグレナ	10.8	9,568
化学 (12.2%)		
KHネオケム	2.9	7,696
フマキラー	4.6	6,725
医薬品 (6.6%)		
モダリス	5.1	7,772
機械 (12.2%)		
オプトラン	2.9	7,206
技研製作所	1.6	7,200
電気機器 (4.2%)		
QDレーザ	1.2	1,896
I D E C	0.8	1,674
山一電機	0.8	1,403
精密機器 (7.3%)		
ナカニシ	3.6	8,575

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
情報・通信業 (23.9%)		
ニューラルポケット	0.3	1,378
コロナラ	5.6	10,942
I P S	3.2	8,729
GMOインターネット	2.3	7,095
保険業 (9.2%)		
アニコム ホールディングス	11.5	10,810
不動産業 (11.7%)		
S R Eホールディングス	2.1	13,776
サービス業 (4.6%)		
キュービーネットホールディングス	2.7	5,094
ステムセル研究所	0.1	280
合 計	62	117,825
	株数・金額 銘柄数<比率>	18 <29.2%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
8X8 INC	8	22	2,533	ソフトウェア・サービス
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	1	24	2,701	ヘルスケア機器・サービス
INVITAE CORP	1	16	1,789	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MSCI INC	5	88	9,834	各種金融
MASTEC INC	9	98	10,933	資本財
XYLEM INC	7	86	9,532	資本財
ELASTIC NV	1	19	2,137	ソフトウェア・サービス
ABIOMED INC	3	92	10,248	ヘルスケア機器・サービス
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	5	61	6,826	ソフトウェア・サービス
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	9	153	17,023	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ANSYS INC	2	84	9,310	ソフトウェア・サービス
FOX FACTORY HOLDING CORP	6	92	10,227	自動車・自動車部品
ILLUMINA INC	2	94	10,510	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INSULET CORP	2	80	8,917	ヘルスケア機器・サービス
STEVEN MADDEN LTD	13	58	6,481	耐久消費財・アパレル
PACIFIC BIOSCIENCES OF CALIF	9	25	2,815	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
QUANTERIX CORP	10	63	7,062	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REPLIGEN CORP	0.8	15	1,685	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROSS STORES INC	4	57	6,406	小売
SHOCKWAVE MEDICAL INC	2	52	5,793	ヘルスケア機器・サービス
VARONIS SYSTEMS INC	17	95	10,618	ソフトウェア・サービス
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	2	108	12,069	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額	127	1,493	165,461
	銘柄 数 < 比 率 >	22	—	< 41.0% >
(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ		
SOFTWARE AG	2	9	1,315	ソフトウェア・サービス
COMPUGROUP MEDICAL SE & CO K	7	53	7,165	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	10	63	8,481
	銘柄 数 < 比 率 >	2	—	< 2.1% >
(ユーロ…フランス)				
TELEPERFORMANCE	3	118	15,727	商業・専門サービス
ORPEA	5	58	7,713	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	9	176	23,441
	銘柄 数 < 比 率 >	2	—	< 5.8% >
(ユーロ…オランダ)				
CORBION NV	13	62	8,249	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	13	62	8,249
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	< 2.0% >
(ユーロ…ルクセンブルク)				
BEFESA SA	2	11	1,495	商業・専門サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	2	11	1,495
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	< 0.4% >
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	34	313	41,667
	銘柄 数 < 比 率 >	6	—	< 10.3% >
(香港)		千香港ドル		
ASM PACIFIC TECHNOLOGY	57	558	7,971	半導体・半導体製造装置
SHANDONG WEIGAO GP MEDICAL-H	393	671	9,578	ヘルスケア機器・サービス
VINDA INTERNATIONAL HOLDINGS	305	747	10,663	家庭用品・パーソナル用品

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)	百株	千香港ドル	千円	
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	241	663	9,474	運輸
NISSIN FOODS CO LTD	250	148	2,122	食品・飲料・タバコ
EC HEALTHCARE	576	725	10,356	消費者サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,822 6	3,515 -	50,167 <12.4%>
(台湾)		千新台幣ドル		
CHIPBOND TECHNOLOGY CORP	240	1,680	6,729	半導体・半導体製造装置
MOMO.COM INC	20	2,840	11,376	小売
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	260 2	4,520 -	18,106 <4.5%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	2,243 36	- -	275,403 <68.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2021年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 393,228	% 97.3
コール・ローン等、その他	11,055	2.7
投資信託財産総額	404,283	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(279,103千円)の投資信託財産総額(404,283千円)に対する比率は69.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.79円、1ユーロ=132.82円、1香港ドル=14.27円、1新台幣ドル=4.0059円。

○特定資産の価格等の調査

(2020年4月23日～2021年6月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月17日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	404,283,961	
コール・ローン等	10,686,859	
株式(評価額)	393,228,402	
未収配当金	368,700	
(B) 負債	410,019	
未払金	280,000	
未払解約金	130,000	
未払利息	19	
(C) 純資産総額(A-B)	403,873,942	
元本	225,497,067	
次期繰越損益金	178,376,875	
(D) 受益権総口数	225,497,067口	
1万口当たり基準価額(C/D)	17,910円	

(注) 当ファンドの設定時元本額は200,800,000円、期中追加設定元本額は42,451,853円、期中一部解約元本額は17,754,786円です。

(注) 2021年6月17日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・リソナグローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家専用) 200,149,923円
- ・グローバル中小型株式ファンド 25,347,144円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.7910円です。

○損益の状況 (2020年4月23日～2021年6月17日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	2,816,872	
受取配当金	2,829,275	
支払利息	△ 12,403	
(B) 有価証券売買損益	162,653,763	
売買益	170,100,720	
売買損	△ 7,446,957	
(C) 保管費用等	△ 384,093	
(D) 当期損益金(A+B+C)	165,086,542	
(E) 追加信託差損益金	26,230,247	
(F) 解約差損益金	△ 12,939,914	
(G) 計(D+E+F)	178,376,875	
次期繰越損益金(G)	178,376,875	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ・ファンド名称の冒頭部分の「RAM」を「RM」に変更するため、約款に所要の変更を行いました。(2021年4月24日)